

社会資本総合整備計画 事後評価書																
計画の名称	災害に強い安全で安心な公園づくり（第三期）															
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	大津市															
計画の目標	本市における都市公園は、225箇所にせまる数となっており、公園に設置されている主要建築物の耐震化や施設の急速な老朽化は、大きな懸案事項となっている。また、既に策定した長寿命化計画が目安となる期間を満了する。そのような状況の中で、期間の満了する長寿命化計画を、現況を反映させた最新のものへ更新し、主要建築物の耐震化及び公園施設長寿命化計画に基づく施設の年次的な更新を行うとともに、避難場所として利用できる公園等の整備を推進することにより、災害時における避難者の安全確保に努め、安全で安心なまちづくりに寄与する。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		458	A	458	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	大津市地域防災計画において避難場所等に位置付けられており、本計画期間中に新施設へ再整備する予定の無い公園施設の耐震化率を86%（R2当初）から100%（R6末）に向上させる。			
	防災避難所に位置付けられた公園の主要施設の耐震化率(当市策定の計画「災害に強い安全で安心な公園づくり（防災・安全）」にて平成28年度まで実施した事業の継続）	86%	86%	100%
2	避難場所として利用できる公園緑地等を1箇所整備することにより、当該地への災害時避難可能者数を0人（R2当初）から2,098人（R4末）に向上させる。			
	対象公園における避難可能者数(当市策定の計画「災害に強い安全で安心な公園づくり（防災・安全）」及び「災害に強い安全で安心な公園づくり（第二期）（防災・安全）」にて令和元年度まで実施した事業の継続） 避難可能者数(人) = 評価時点の避難可能面積（㎡）÷ 1人あたりの必要避難面積（㎡/人）	0人	2098人	2098人
3	老朽化等した公園施設について、改築及び更新を実施した公園施設の割合を0%（R2当初）から50%（R6末）に向上させる。			
	老朽化等した公園施設について、改築及び更新を実施した公園施設の割合	0%	29%	50%
4	既に策定された長寿命化計画について、見直しを実施した公園施設の割合を0%（R2当初）から50%（R6末）に向上させる。			
	既に策定された長寿命化計画について、見直しを実施した公園施設の割合	0%	29%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	皇子が丘公園における運動施設 の耐震化	大津市	■	■	■	■		112		-
	A12-002	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	都市公園事業（防災公園）	（仮称）若葉台地先公園整備	大津市	■	■				125		-
	A12-003	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	大津市公園施設長寿命化対策	仰木西公園ほか 3 公園における施設等の改築 等	大津市	■	■	■	■	■	121		策定済
	A12-004	公園	一般	大津市	直接	大津市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	公園施設長寿命化計画策定調査 等	大津市	■	■	■	■		100		-
											小計						458		
											合計						458		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業終了後、事業実施担当部局において実施	令和7年7月
	公表の方法
	大津市ホームページにて公開

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・防災避難所に位置付けられた皇子が丘公園の主要施設である弓道場において、耐震改修工事を実施したことにより、災害時の安全性確保に繋がった。 ・避難場所として利用できる若葉台公園を整備したことで、災害時避難可能者数が増加し、地域の防災力が向上したことにより、安全・安心なまちづくりを実現した。 ・老朽化等した公園施設について、改築及び更新を実施した施設の割合が増加したことで、安全対策が強化された。 ・策定された長寿命化計画について、現況を反映させた最新のものへ更新したことで、都市公園施設の老朽化対策に計画的に取り組むことが可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・新たに若葉台公園を整備したことで、第4次大津市緑の基本計画に掲げる数値目標である市民一人あたりの都市公園面積を増加させるとともに、地域住民の交流の場が確保できた。 ・老朽化等した公園施設について、改築及び更新を実施した施設の割合が増加したことで、ライフサイクルコストの縮減に繋がった。

○特記事項（今後の方針等）

当該計画に位置付けていた要素事業（大津市公園施設長寿命化対策、公園施設長寿命化計画策定調査）については、「災害に強い安全で安心な公園づくり（第四期）（防災・安全）」に位置付けを変更し、事業を継続中である。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	防災避難所に位置付けられた公園の主要施設の耐震化率(%)		
	最 終 目標値	100%	対象施設の一部について、今後のあり方を検討中であり、方向性が定まるまで耐震化工事を見合わせているため
	最 終 実績値	92%	
2	対象公園における避難可能者数(人)		
	最 終 目標値	2098人	若葉台公園整備事業の実施設計にあたり、避難有効面積の調整があったため。
	最 終 実績値	3654人	
3	老朽化した公園施設の改築及び更新を実施した割合(%)		
	最 終 目標値	50%	
	最 終 実績値	50%	
4	長寿命化計画の見直しを実施した公園施設の割合(%)		
	最 終 目標値	50%	既存の長寿命化計画に基づく公園施設の老朽化対策を優先的に実施したため。
	最 終 実績値	16%	